

Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都千代田区九段北1-8-10

為替週間展望 = ドル円はもみ合いながら緩やかに上値を追う展開か

[11月29日からの1週間の展望]

週間高低 (カッコ内は日)		11月22日～11月26日			
	始値	高値	安値	終値	前週比
ドル・円	113.88	115.52(24)	113.87(22)	114.54	+0.55
ユーロ・ドル	1.1307	1.1307(22)	1.1186(24)	1.1229	-0.0061

=====

国内株・金利 / 米国株・金利		終値		前週末比	
	終値	前週末比	終値	前週末比	
日経平均株価	28,751.62	-994.25	日本10年債利回り	0.076	+0.001
ダウ平均株価	35,804.38	+202.40	米10年債利回り	1.634	+0.011

=====

<来週の主要経済統計等>

- 29日 日本10月小売業販売額
 - 独11月消費者物価指数速報値
 - カナダ第3四半期経常収支、カナダ10月鉱工業製品価格
 - 米10月中古住宅販売成約指数
- 30日 日本10月有効求人倍率、日本10月雇用統計
 - 日本10月鉱工業生産指数
 - 豪第3四半期経常収支、豪10月住宅建設許可件数
 - 中国11月製造業購買担当景気指数
 - スイス11月KOF先行指数
 - 独11月雇用統計
 - ユーロ圏11月消費者物価指数速報値
 - 米9月住宅価格指数、米9月S&Pケースラー住宅価格指数
 - 米11月シカゴ購買部協会景気指数
 - 米11月消費者信頼感指数
 - パウエルFRB議長、イエレン財務長官が議会証言
- 1日 豪第3四半期国内総生産(GDP)
 - 中国11月財新製造業購買担当景気指数
 - スイス11月消費者物価指数
 - 独11月製造業PMI確報値
 - ユーロ圏11月製造業PMI確報値
 - 英11月製造業PMI確報値
 - 米11月ADP雇用統計
 - 米11月製造業PMI確報値
 - 米11月ISM製造業景況指数、米10月建設支出
- 2日 豪10月貿易収支
 - スイス10月小売売上高
 - ユーロ圏10月生産者物価指数、ユーロ圏10月雇用統計
 - 米新規失業保険申請件数
- 3日 独11月非製造業PMI確報値
 - ユーロ圏11月非製造業PMI確報値
 - 英11月非製造業PMI確報値
 - ユーロ圏10月小売売上高指数
 - カナダ11月雇用統計
 - 米11月雇用統計
 - 米11月サービス業PMI確報値
 - 米11月ISM非製造業景況指数、米10月製造業受注

【前回のレビュー】米国でのインフレ警戒感は根強く、早期の利上げ期待が高まりつつある。そうした中、米経済指標が堅調な結果を続けるようだと、ドル円は堅調な流れを維持することとなる。1 1 3 円台に沈んだところでは底堅く、買いに支えられて上値を追う展開になるとした。

【バイデン米大統領がパウエル F R B 議長を再任】

来年 2 月に任期の切れる米連邦準備制度理事会（F R B）の次期議長人事が決着した。1 1 月 2 2 日にバイデン米大統領はパウエル F R B 議長を再任すると発表した。ブレイナード理事は副議長に指名された。よりハト派的とみられるブレイナード氏の議長就任とならなかったことや議長人事の不透明感が払しょくされたことで、その後は米長期金利が上昇傾向にある。

1 0 日に発表された 1 0 月の米消費者物価指数が前年比 + 6. 2 % となり、約 3 1 年ぶりの高い伸びとなり、これ以降、利上げ前倒し観測が台頭している。2 4 日発表の 1 0 月の個人消費支出（P C E）デフレーターは前年比 + 5. 0 % で市場予想を下回り、コア P C E デフレーターは前年比 + 4. 1 % と市場予想と同水準だった。予想から上振れはしなかったものの、水準が極めて高い水準にあり、市場のインフレ警戒感は根強い。再任されたパウエル議長はインフレ対策が重要課題となる。

2 4 日に発表された 1 1 月 2 ~ 3 日の米連邦公開市場委員会（F O M C）議事要旨では、資産購入ペース縮小に柔軟性を持たせることの必要性を強調した。「リスク管理に基づき適切な政策の柔軟性を維持することは、政策を実施する上での基本理念であるべき」としている。また、インフレ率の高止まりは一時的な要因としつつも「多くの参加者がインフレの持続的上昇の証拠を確認」としている。市場関係者の間では、資産購入ペース縮小を早期に終了し、来年半ばの利上げ期待が高まっている。

パウエル議長の再任報道やその後の米長期金利の上昇を受けて、ドル円は 2 0 1 7 年 3 月以来の 1 1 5 円台に乗せとなった。米消費者物価指数や米個人消費支出（P C E）デフレーターなどの物価指数が高水準で推移していることで、F R B が主張する「物価上昇は一時的」との見解は説得力を失いつつある。

南アフリカで新型コロナウイルスの変異株が検出されたことで、2 6 日にドル円は 1 1 5 円を割り込み、1 1 4 円台半ばまで下落した。このところの上昇に対する調整局面となった。一時的に調整したものの、トレンドを転換させるような材料とはならないとみられる。仮に変異株が拡大した場合は、円とともにドルも買われることが見込まれ、一方的に円高が進行することはないだろう。

米国での資産購入の縮小ペースの加速や早期の利上げ観測が高まりを見せる中、ドル円は調整一巡後に再び上昇基調に転じるとみられる。ただ、1 1 5 円台から一気に大幅な上昇は見込みにくく、もみ合いながら緩やかに上値を追う展開となりそうだ。ドル円の目先の予想レンジは、1 1 3. 7 5 ~ 1 1 6. 5 0 円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、2 9 日に日本 1 0 月小売業販売額、米 1 0 月中古住宅販売成約指数、3 0 日に日本 1 0 月有効求人倍率、日本 1 0 月雇用統計、日本 1 0 月鉱工業生産指数、米 9 月住宅価格指数、米 9 月 S & P ケースラー住宅価格指数、米 1 1 月シカゴ購買部協会景気指数、米 1 1 月消費者信頼感指数、1 日に米 1 1 月 A D P 雇用統計、米 1 1 月製造業 P M I 確報値、米 1 1 月 I S M 製造業景況指数、米 1 0 月建設支出、2 日に米新規失業保険申請件数、3 日に米 1 1 月雇用統計、米 1 1 月サービス業 P M I 確報値、米 1 1 月 I S M 非製造業景況指数、米 1 0 月製造業受注などがある。

【ユーロドルは軟調な推移を継続】

ユーロ圏では新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大傾向が続いており、ユーロ売りの動きにつながっている。一方で米国ではパウエル F R B 議長の再任が発表されたことで、米長期金利は上昇傾向にあり、ドルは堅調な地合いを見せている。こうした中、ユーロドルは戻しても売られやすくなっており、1. 1 2 0 0 ドルの節目を割り込んでいる。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにオーストリアでは22日にロックダウン（都市封鎖）を開始した。ドイツでは1日の新規感染者数が6万人を超えるなど、感染者数が急増している。ドイツ国内ではクリスマス市（いち）が中止に追い込まれるなど感染拡大の影響が警戒される。ユーロ圏での感染者数の拡大傾向が続いていることで、ユーロドルは上値の重い動きが継続するとみられる。ユーロドルの目先の予想レンジは1.1000～1.1300ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、29日に独11月消費者物価指数速報値、30日に豪第3四半期経常収支、豪10月住宅建設許可件数、中国11月製造業購買担当景気指数、スイス11月KOF先行指数、独11月雇用統計、ユーロ圏11月消費者物価指数速報値、1日に豪第3四半期国内総生産（GDP）、中国11月財新製造業購買担当景気指数、スイス11月消費者物価指数、独11月製造業PMI確報値、ユーロ圏11月製造業PMI確報値、英11月製造業PMI確報値、2日に豪10月貿易収支、ユーロ圏10月生産者物価指数、ユーロ圏10月雇用統計、3日に独11月非製造業PMI確報値、ユーロ圏11月非製造業PMI確報値、英11月非製造業PMI確報値、ユーロ圏10月小売売上高、カナダ11月雇用統計などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買についての判断は自己責任でお願いします。

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。